

首都圏増田会だより

38
2023.7



首都圏増田会総会
オーラム
2023年11月19日(日)

雪のなかのカモシカ(真人山地内)

再会を楽しみに

横手市まちづくり推進部
増田地域局 局長

佐藤 孝之(田町)



首都圏増田会会員の皆様におかれましては、ふるさと増田への熱い想いのなか、増田地域の発展のため多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

親睦と融和、愛郷と連携を旗印に昭和61年11月に首都圏増田会が結成されてから38年目を迎えることとなります。こうした歴史を築きあげることができたのは細野会長はじめ歴代の会長、役員、会員の皆様のご尽力によるものであり、これまでのご労苦に改めて敬意を表したいと存じます。

コロナ禍で2年間にわたり総会を開催できずにいましたが、昨年は役員の皆様のご決断により開催することができました。やはり感染を警戒されたのか参加者が少なかったということではありますが、今年は5月の大型連休明けからコロナも5類感染症に移行し、制限や規制が取り払われ、コロナ禍前の状態に戻りつつあるように感じていますので、多くの会員の皆様との交流を期待しているところであります。

さて、私は今年の4月に増田地域局長を拝命いたしました。首都圏増田会とのお付き合いは私が旧増田町役場に入庁した35年前の昭和63年度から始まっています。当時、首都圏増田会の総会には町幹部が勢ぞろいして出席するといったものであり、私はその総会のお手伝いをするのが仕事でした。役場に入ったばかりの若輩者が右も左もわからず、先輩の言うことを聞いて芋の子汁や手土産などの荷物を運び、ひたすら走り回っていたことを覚えています。交流会は立食パーティーのスタイルで多くの会員の皆様がお集まりになり、移動しながら互いに交流を深めておられました。今ではとても懐かしく思い出される光景です。

ふるさと増田では、重要伝統的建造物群保存地区の電線類の地下埋設工事が昨年5月に完了いたしました。今年は重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから10周年を迎える年となり、ささやかではありますが記念事業も予定しております。また、令和元年5月にリニューアルオープンを迎えた横手市増田まんが美術館も令和5年5月末現在41万人を超える方々がお越しになられ著名な漫画家の企画展などをご覧いただいております。さらに今年度から狙半内小栗山にあります天下森スキー場のリニューアル工事に取り掛かります。天下森スキー場は横手市において唯一のスキー場であり、スキー客の皆様が安全に安心して楽しめるような施設にするためにしっかりと取り組んでまいります。

今後も、皆様をはじめ諸先輩が築かれてきましたふるさと増田を活かすため取り組んでまいりますので、首都圏増田会の皆様におかれましては、これまでと変わらぬご支援とご指導を賜りますことをお願い申し上げますとともに、増田会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。



ある日の思いで

首都圏増田会 会長 細野 芳之助(小栗山)



コロナウイルス感染症が減少し、少しずつコロナ禍前の行事が出来るようになりました。3年ぶりに私の母校であります、地元の川崎市立中原中学校の第75回卒業式に来賓として、出席してまいりました。私は3年生の時に転入し、1年間だけ学び、卒業いたしました。卒業してから早くも60年の歳月が過ぎました。学校長のことばで、学校長が一番好きな歌詞として、大切に思っている歌詞を話されました。その歌詞とは、東に住む人はしあわせ、生まれたばかりの太陽を一番先に見つけることが出来るから・北に住む人はしあわせ、春を迎えるよろこびを誰よりも強く感じる事が出来るから・南に住む人はしあわせ、いつでも花の首かざり愛する人に捧げることが出来るから・西に住む人はしあわせ、いつでも終わりに太陽を明日の空へ見送ることが出来るから。この歌詞は東西南北何処に住んでも違う幸せがあると話されました。

私たちのふるさととは、北国になりますので、雪解けとともに春を迎える喜びとしあわせを強く感じる事が出来ます。

また、今年の9月28日(木)～30日(土)にふるさと探訪ツアー(当番・首都圏十文字会)が予定されておりますので、会員の皆様の御参加をお願いするとともに、故郷のお酒を飲んで皆様と楽しく旅をしたいと思っております。これからも役員一同力を合わせて、首都圏増田会の発展に努めてまいります。総会の開催時には、皆様の元気な笑顔で大勢の参加をお待ちしております。今後とも会員の皆様の温かいご支援をお願いいたします。

皆さん こんにちは！

首都圏増田会 幹事長 越後 英雄(本町)



首都圏増田会では、首都圏に住む、横手市増田町出身者および関連者の親睦を目的として年1回の総会と交流会を30年以上実施してきました。

さて、長かったコロナ禍もやっと落ち着きを見せ、2022年(令和4年)11月20日(日)には、待望の第37回総会を上野・オーラムにおいて、久々に故郷の皆様と笑顔の交歓が出来ました。

アトラクションでは、横手盆地出身者が中心メンバーとして活躍する社会人ジャズバンド「Yokote Heroes」の演奏をお楽しみいただき、首都圏増田会の恒例となりました、「ビンゴゲーム」では、素敵な景品をお持ち帰りいただきました。

また、年に3～4回開催していた役員会もやっと再開できました。4年ほど前から役員の顔ぶれもだいぶ変わり、若手が増え平均年齢も大幅に下がり、女子比率も高くなりました。LINEやzoomなどを通じて頻繁に情報交換も行っております。

今年は、9月28日から30日にかけて「ふるさと探訪ツアー」として役員がふるさとを訪ねることも決まりました。さらに11月19日(日)には、第38回総会を上野・オーラムにおいて例年どおり開催できますことを楽しみにしております。その際には、大勢の皆様のご参加をお待ちしております。2022年には実現できなかった「いものこ汁」も復活させる予定です。皆様と一緒に総会と交流会で元気な顔を確認し、再会を喜び合いたいと思います。

環境講演会



11月26日、増田地区交流センター主催の環境講演会が開催されました。今回は第20回の記念講演会ということで、藤原幸一氏（秋田市出身：TBS「情熱大陸」にも出演）を講師に迎え「プラスチック惑星・地球」と題し、ご講演いただきました。人間が捨てたプラスチックごみにより野生動物や人間に与える影響を学び、地球環境の問題を考えました。

防災研修会



3月7日に狹半内地区交流センター主催で防災研修会を開催しました。今回は、正しい災害の知識や対処方法を学習し、防災意識の高揚を目的として岩手県釜石市を訪問しました。釜石観光ガイド会の方から被災当時の様子や自然災害の脅威についてお聞きすることで、参加者は防災の大切さを再認識する機会となりました。

※写真：いのちをつなぐ未来館を訪問したときのもの

NHKの寒天取材



11月11日、亀田婦人会（藤原愛子会長）の方々が寒天づくりの名人という話を聞きつけてNHK秋田放送局が取材のため亀田地区交流センターを訪れました。当日は、9名の寒天名人が腕によりをかけ、くるみ寒天やたまご寒天などをつくり、NHK秋田放送局のアナウンサーが試食しました。やはり名人の作る寒天の味は格別で大変感動していました。

元祖さるはんない幻灯



2月11日、12日の両日「元祖さるはんない幻灯」が4年振りに行われました。雪不足や新型コロナウイルス感染症により開催することができませんでしたが、狹半内地域の皆さんの結束により令和5年は開催する事が出来ました。見学に来た地域住民や再開を心待ちにしていた方々は、壮大な景観美に感動していました。

当日の様子は、ABS秋田放送の「Family-1枚の写真から始まる物語-」で秋田県全域に放送されました。

増田『蔵の日』



10月2日に増田『蔵の日』が3年振りに開催されました。当日は天候にも恵まれ多くの観光客でにぎわいました。また、増田中学校吹奏楽部による生演奏や増田盆おどり保存会による盆おどりの実演、福島サイサイ囃子保存会によるお囃子も開催に花を添えました。また、増田中学校の生徒の皆さんは、公開家屋の軒先に立ち、観光客の皆さんを相手に家屋の特徴や蔵の説明を行い、蔵の日を大いに盛り上げてくれました。

増田の梵天



2月18日に増田の梵天が開催されました。今年は、例年のように各集落等が参加して演技を競う梵天ではなく、大人の有志による1本と増田小学校児童有志による3本のミニ梵天が奉納されました。これは、増田の梵天の伝統を絶やしてはならないという熱い思いから開催したものです。増田小学校の児童も大人顔負けの演技を披露し、観客から大きな歓声が上がりました。

増田町の出来事

～ 令和4年度に行われた行事を紹介 ～

文化講演会



6月25日、西成瀬地区交流センターで「文化講演会」が開催され、北京パラリンピックアルペンスキーに出場した藤原哲選手（湯野沢出身）にご講演いただきました。競技への熱い想いや、パラリンピックの裏話を聞くことができました。また、藤原選手が実際に使用したチェアスキーなどの用具も持参していただき、普段触れることのできない話題や用具に参加者は興味津々の様子でした。

防災担当大臣表彰受賞



西成瀬地区自主防災連合会（季子春会長）が「令和4年防災功労者防災担当大臣表彰」を受賞しました。国の授与式には出席できませんでしたが、9月27日に高橋大市長から表彰状が伝達されました。この表彰は、平成28年に西成瀬地区9集落が一斉に自主防災会を結成し、地域住民の生命と財産を守るため防災活動を行ってきたことが評価されたものです。令和2年度の「秋田県優良自主防災組織表彰」に続く大変名誉な受賞となりました。

増中・増小「夢」講座



5月24日、増田中学校体育館に魚類学者の杉山秀樹先生をお迎えし、「釣りキチ三平が出来るまで」と題し、ご講演いただきました。杉山先生は、クニマス研究の権威でも知られ、幻の魚クニマスを題材にした矢口高雄先生の平成版釣りキチ三平の「地底湖のキノシリマス」の誕生にも寄与しました。矢口先生との出会いや、魚の環境を守る事が自然環境を守る事と熱く語り、児童生徒の皆さんは熱心に聞いていました。

地震体験会



7月23日、亀田地区交流センター主催で「地震体験会」を開催しました。当日は、秋田県の地震体験車が亀田地区交流センターに来館。近年地震が多発していることをふまえ、いざという時に備えるため亀田地区の大人から子どもまで約100名の地域住民が地震の揺れの怖さを体験しました。参加した住民は、あらためて防災の重要性を認識しました。

りんごの歴史探訪



5月14日、亀田地区交流センターと醍醐地区交流センターの共催で「りんごの歴史探訪」が開催され、平鹿りんごの礎を築いた先人達の功績をたどりしました。参加者は、榎場地内の應鷹園（おうようえん）の藤原利三郎氏の功績を顕彰した頌徳碑（しょうとくひ）前（※写真）でも説明を受け、真剣に耳を傾けていました。

高橋友鳳子コレクション豆本展



7月15日から24日までの10日間、4地区交流センター主催で、高橋友鳳子コレクション豆本展2022が増田地区多目的研修センターで開催されました。今回は、平成2年に旧増田町が友鳳子氏（菅生出身）から購入した古俳書、豆本などの貴重なコレクション4,000点の中から約800点を展示しました。観覧された方々は、小さな豆本から大きな感動をいただきました。

※豆本：手のひらに乗るほどの小さな本のこと

第37回 首都圏増田会 総会・交流会の様子



訃報

首都圏増田会結成当初から支えていただき、会長としても約11年の長きにわたりご尽力いただきました佐藤章名誉会長がお亡くなりになりました。

また、同じく役員として長年にわたりご尽力いただきました佐藤修監査役もお亡くなりになりました。私達役員一同お二方のご逝去が残念でなりません。

ご兄弟で首都圏増田会発展のためにご活動いただき、首都圏増田会の礎を築いてくださったお二方に心より感謝申し上げますとともに、役員一同心から哀悼の意を表します。

合掌

3年振りに開催！

第37回

首都圏増田会

総会

・交流会

令和4年11月20日(日)、3年振りとなる「第37回首都圏増田会総会・交流会」が上野オーラムを会場に開催されました。会員、ご来賓合わせて約60名の方々にご出席いただきました。

総会では、事業報告や事業計画及び決算・予算が満場一致で可決されました。スムーズな進行にご協力いただきました出席者の皆様に感謝申し上げます。

総会では、アトラクションとしてジャズバンドヨコテヒーローズによる演奏を楽しみました。ヨコテヒーローズの皆さんには、交流会でも「ふるさと」を即興で伴奏していただきました。交流会では、久しぶりの再会に会場は楽し気な声があふれました。新型コロナウイルス感染症予防としてふるさとの味の振る舞いはありませんでしたが、地元酒蔵の地酒や特産品を景品としたビンゴゲームで大いに盛り上がりました。

来年はもっと多くの仲間とこの会場で会えることを願い、閉会となりました。



お願いー連絡ー

事務局より

市町村合併後、市当局からの支援金は減額となりました。そのため、増田会だよりの発行について、次のようにさせていただきます。

過去5年間、会費が未納の方

総会の案内及び増田会だよりの郵送を中止させていただきました。ただし、総会への参加は1人でも多くの方々の参加を期待しています。皆様のご理解の程をお願い申し上げます。

令和4年度首都圏増田会収支報告

令和4年11月20日現在

首都圏増田会の令和4年度の収支決算がまとまりました。その内容は下記のとおりです。

【収入の部】		※「比較」欄は予算との比較	
項目	金額(円)	比較	備考
会費	208,562	▲ 91,438	2,000円/年(手数料差引後)
総会会費	0	▲ 640,000	68人
補助金	44,485	▲ 5,515	横手市より
繰越金	779,754	0	
預金利子	6	4	
諸収入	0	▲ 300,000	総会祝儀(0円) 広告収入(0円)
収入合計	1,032,807	▲ 1,036,949	

【支出の部】			
項目	金額(円)	比較	備考
総会費	22,861	▲ 1,127,139	総会中止の案内送付切手代
会議費	102,509	▲ 97,491	役員会 2回
渉外費	60,000	▲ 120,000	横手市ふるさと会連絡協議会ほか
慶弔費	0	▲ 20,000	
広告費	30,000	▲ 40,000	増田の花火協賛金
通信費	52,148	▲ 17,852	増田会だより印刷代ほか
事業部活動費	0	▲ 30,000	役員研修会 増田会だより(広報部)
手数料	2,530	▲ 4,470	送金手数料ほか
事務費	5,554	▲ 9,446	事務消耗品ほか 役員会案内切手・はがき代
総会準備費	0	▲ 50,000	
予備費	0	▲ 277,756	
支出合計	275,602	▲ 1,794,154	

収支差引残金 757,205円は翌年度へ繰越

令和4年11月20日 首都圏増田会 会長 細野 芳之助

第38回首都圏増田会総会

■期日 11月19日(日)午前11時30分～

■場所 オールム(令和4年と同じ場所です)

住所 東京都台東区東上野 1-26-2

電話 03-5812-1123

会費 8,000円

募集しています

写真募集 首都圏増田会広報部より

「増田会だより」の表紙に載せる写真を募集しています。増田会にふさわしく、増田に関する郷土の風景、行事、心に残る写真をお持ちの方がおりましたら、ぜひ提供をお願いします。

■提供先:幹事長 越後 英雄

広告協賛募集 首都圏増田会総務部より

総会資料に掲載する広告を募集しています。1口(名刺版)3,000円となります。希望される方は、伝票の通信欄にその旨をご記入いただき、会費と一緒に納入してください。

会費の納入はお早めに

事務局より

当会の事業・運営は、会員の皆様の会費によって賄われていますが、ここ数年会費の納入が遅れたり、未納の会員の方がおります。健全会計維持のためにも、納入はお早めをお願いします。なお、未納の方には次回より案内状・たより等の送付はしないこととします。また、転居された方をご存じの方は、横手市まちづくり推進部増田地域課へお知らせください。

■連絡先:〒019-0792 秋田県横手市増田町
増田字土肥館173番地
電話0182-45-5510

◆会費 年額2,000円
(※現金ご持参でお振込みの場合、加算料金(110円)がかかります。詳しくは、別紙をご覧ください。)

◆納入期限 令和5年10月6日(金)
※振込伝票の通信欄は、会員紹介、増田会に対するご意見などを自由に記入してください。